

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・今年度も、毎月のえんだよりや情報誌に理念等を掲載した。利用者への周知も保護者アンケートから昨年度より改善されていることが確認できた。しかし、理念等は園だよりにより毎月掲載しなくてもよいのではないかと保護者や職員の意見もあった為、今後は掲載内容を工夫し、具体的な教育保育の場を例にとるなどして、効果的に知らせられるように配慮する。</p> <p>・一人一人の人格を尊重した教育・保育については、園内研修で「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を利用して話し合い、共通理解を図った。この研修を年2回行うことで、子どもの人格を尊重したり、不適切な保育の防止について理解したりしている。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか（不適切な保育の防止についての理解）	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか（全体的な計画）		○			<p>・今年度も、子どもが主体的に活動できるように行事を行い、環境や方法を職員間で話し合い工夫してきた。しかし、保護者アンケートから”子ども主体の教育・保育”を推進していることがしっかりと伝わっていない回答も見られた。行事の前には、クラスだよりを発行し、子ども主体で活動していることを知らせているが、十分ではないのか、より分かりやすく伝えていくことが必要。園での様子を保護者により多く情報提供したり、わかりやすく見える化することや、懇談会などで直接お話することもよいのではないかと考えている。また、職員向けにはよりよい主体的な教育・保育について理解を深める研修を行っていきたいと思う。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・キッズビューに毎日、子どもの健康状態を記録し、感染症の発生等は連絡アプリのラインワークスで共有している。</p> <p>・特に0・1歳児の保育室では、安定した生活が送れるように職員を配置し、安心して過ごせる環境を整えてあげられるように今後も配慮する。</p> <p>・子どもが進んで食事ができるように、畑で野菜作りや季節にあった行事食、食事が楽しみになるから弁の日（自宅から弁当箱を持ってきて、給食を詰めて戸外等で食べる）など食事を楽しむ工夫をしている。</p> <p>・以上児は、ランチホールで食事をしているが、コロナ禍の為、クラス単位で食事をしている。今後、準備ができた子から食べ始めるなど、待たずに食事を楽しむことができるように、給食職員とさらに連携していく。</p> <p>・子どもが主体的な活動ができるように、子ども同士や保育者との話し合いを多く持ち、必要な物はできるだけ用意し環境を整える工夫をしている。また、担任が困っている時には、園内研修で話し合う場を設けて共通理解をし、園全体で助け合っていく（チーム中海）体制がとれた。今後も、連携を大切に、困ったこと等はすぐに声をあげ、職員間で共有できる体制でいきたい。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・配慮の必要な子に対しては、子どもが安心して生活ができるように、終礼などを利用して職員間で共通理解し全職員で関わっていきけるようにしている。</p> <p>・コロナ禍であるが、5年生とのじゃがいも掘りや小学校見学、連絡会などの交流を行い、最低限の連携がとれた。保護者とは、就学に向けて気になることがあればお互いに話し合う機会を持っている。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・感染対策を講じ運動会や保育参観・参加、親子遠足、懇談会、表現会などを開催し、園での様子等を見て頂いた。送迎時や連絡帳などで保護者とのやりとりをする機会を多く持つことで保護者アンケートでも評価がよかった。しかし、バス通園児や早く迎えに来る子の保護者には、少し伝達の不足を感じることもあるので、会える時には、声をかけられるように心掛けていく。また、年長児の保護者へは、1月から2月に希望者に個人懇談を行い、少しでも就学前の不安の解消や子ども理解に努めた。</p> <p>・今年は気候のよい時期(新型コロナウイルスの新規感染者が減少している時)に園開放を行うことができた。おたよりを配布したり、プレ保育を行い家庭で子育てしている親子を支援したりとコロナ禍でもできることを行った。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・看護師の専門性を活かし、細やかな指導の下、保育者等や保護者と連携しながら感染予防対策を行っている。また、エビベンを預かることになり、デモ用のエビベンを使った研修を行った。AEDや嘔吐処理の研修も必ず行っている。</p> <p>・今年度は、実際に水害避難を行った。事前の水害避難訓練を行っていたことで、職員は冷静に判断し避難することができた。また、今年度は給食職員も避難訓練に参加している。</p> <p>・バス通園や登園確認の仕方を再検討し、自己判断せず職員間で確認することやダブルチェックができる体制に見直しを行い徹底できた。</p> <p>・全職員で園内研修を行ったり、外部講師研修、キャリアアップ研修も行ってきた。今年度は、職場改善委員会を立ち上げ、働きやすい職場を目指し、そこからの質の向上も図った。</p> <p>・保育者として必要な、守秘義務の遵守や個人情報の取り扱いには周知し適切に行われていた。</p> <p>・苦情や相談等は上司への報告、連絡、相談を行うようにした。回答は、できるだけ早期にわかりやすく伝えた。</p> <p>・現在は、保護者との対応は玄関で行うことが多いため、玄関で待つ保護者や子どもへの対応等は十分気を付けていきたい。</p> <p>・職員一人一人は自己評価やキャリアパスフレームによる評価を行い取り組んでいる。しかし、日々の自己評価である日誌等が十分にできていないこともある。記録することで一日の評価反省ができて次に繋がることを意識し、評価する時間の確保を工夫して取り組んでいきたい。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						